

## 令和4年度 保険診療委員会活動報告

保険診療委員会 上半期活動報告

令和4年10月31日

担当理事 小川千登世

委員長 田内 久道

### I. 厚生労働省医療技術評価（令和4年度診療報酬改定）について（再掲）

当学会からは以下のものを申請したが「別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。」との理由で認められなかった。

- (1) (ブリナツモマブ) 携帯型精密輸液ポンプ加算
- (2) (ブリナツモマブ) 在宅悪性腫瘍等患者指導管理料
- (3) がんゲノムプロファイリング検査

日本小児科学会社会保険委員会から別途提出した「造血幹細胞移植を実施する小児患者に対する無菌治療管理の評価の新設」の診療報酬要望について現在の「小児入院医療管理料」に追加して2000点（または1500点）×90日の「無菌室治療管理加算」が算定できるよう診療報酬が改訂された。

### II. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議関連

1. 小児急性前骨髄球性白血病に対して三酸化二ヒ素（トリセノックス注）の申請を行った。（令和4年4月）（再掲）
2. イソトレチノインの高リスク神経芽腫の維持療法に関してサンファーマに対して開発要請が行われた。（令和4年6月）（再掲）
3. トレオスルファンの検討会議への申請（令和4年8月）  
医師主導試験が考慮されている状態での提出の是非に付き、申請者、保険診療委員会、厚生労働省医薬品審査管理課にて検討中。  
申請者より名古屋医療センターARO にコンサルト（PMDA 面談に向けて）が行われている。

### III. 薬剤供給停止関連

「コンファクト®F 静注用 250 単位/500 単位/1000 単位」の発売に伴う「コンファクト F 注射用 250/500/1000」の供給停止 KMバイオロジクス株式会社（令和4年5月）→規格変更であり治療に支障がないと考え委員会として了承する。（再掲）

### IV. 2024年度診療報酬改定に向けての提案書について

以下の区分より「令和6年度改定【提案書意向調査】」の形式で提出いただくように会員あてにメールおよびHPにて依頼している。

2022年11月14日（月）締め切り

## 提出区分

- ・ 未収載：B 医学管理料～N 病理
- ・ 既収載：B 医学管理料～N 病理
- ・ A 区分：基本診療料（未収載）
- ・ A 区分：基本診療料（未収載）
- ・ 医薬品：再評価が必要な医薬品の要望

## V. その他要望書など審議

1. FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイリングの検査実施時に使用するセルフリーDNA 抽出用採血管の小児に対する禁忌・禁止欄の改訂に関する要望書（案）について

### 【内容】

cfDNA 採血管の添付文書の禁忌・禁止欄には、「小児には使用しないこと。」との記載があるため、小児進行固形がん患者さんへの使用が制限され、本検査を適切に実施できない問題点について当学会から厚生労働大臣あての要望書案に関し審議を行った。

### 【結果】

委員会で要望書の小修正を行い承認した。（令和 4 年 9 月）

2. 小児がんのドラッグラグ関連の要望書

### 【内容】

一般社団法人日本小児血液・がん学会 理事長 大賀 正一  
特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ 理事長 足立 壮一  
国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長 五十嵐 隆  
一般社団法人日本癌学会 理事長 佐谷 秀行  
以上の連名で小児のドラッグラグ関連の要望書を厚生労働大臣宛に提出するに際し、要望書の審議を行った。

### 【結果】

「小児がんのドラッグラグ緩和を要望します」を「小児がんのドラッグラグ解消を要望します」への変更をはじめ、いくつかの修正を行い承認した。

また令和 4 年 1 月 24 日に小児血液がん学会より日本医師会に提出した開発候補薬リストを添付した。（令和 4 年 10 月 4 日）

3. カプラシズマブ（カプリビ®、サノフィ）の在宅自己注射の要望について

### 【内容】

日本血液学会、日本血栓止血学会、日本輸血細胞治療学会からは要望書が提出され、成人に対しては在宅自己注射に関する保険適応が認められる予定であり、厚労省よりサノフィに、小児の在宅自己注射については小児関連学会からの要望書提出が必要と指示があった。

### 【結果】

要望書について保険診療委員会で審議を行い承認した。（令和 4 年 10 月 13 日）